

港区白金地区

「新たな教育のスタイル」の実施校（仮称）の構想（案）

デジタルの力で、学びを究める進学校

～自分を磨いて、白金から世界へ～

令和8年2月  
東京都教育委員会

# 概要

## 1 新たな学校の開校と、本校の位置づけ

「新たな教育のスタイル」の基幹校(プロトタイプ校)として令和11年度に開校

## 2 育成する人材と進路イメージ

【人材像】世界に飛び出し、生き抜く人材、新しい未来を創るイノベーター人材

【進路】国内外の最難関大学、高校時代に究めたことを一層研究

## 3 教育方針

自己デザイン

創造

協働

## 4 「プラチナ・カリキュラム(仮称)」の特徴

- 01 自己デザインによる学びを叶える <ハイブリッドシステム、自由選択科目>
- 02 自分の「究めたい」学びを深める <探究学習+反転学習>
- 03 生徒の学びを支える伴走 <教員のマインドチェンジ、LMS、1on1メンター>

都立新国際高等学校(仮称)は、その理念や専門家意見を踏まえて「新たな教育のスタイル」を実施する学校としてバージョンアップします。

### 日常的な「AI」の活用

### 「グローバル・リーダー」との交流

#### 学び方

生徒自身の  
知識や興味に応じた  
生徒一人一人の学び

専門家や企業の人材から  
リアルな社会課題を扱った  
新たな価値の学び

#### 学習の内容と指導者

#### これからの学び

教員の一斉指導  
による学び

免許を持つ教員から  
教科書を通じた学び

#### これまで の学び

学校や教室の中で  
時間割に則った学び

年間で決められた  
時間を使う学び

#### 時間と場所

デジタルを活用し  
生徒自身が時間や場所  
を選ぶ学び

費やした時間量でなく  
論文やコンテストなどの  
成果で評価される学び

#### 学習の成果と評価

これらを本格的に実現し、「新たな教育のスタイル」の基幹校(プロトタイプ校)  
として令和11年度に開校します

### 「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)

## 港区白金地区の 「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)

デジタルの力で、学びを究める進学校 ～自分を磨いて、白金から世界へ～

### 育成する人材

柔軟で自由な発想で、世界に飛び出し、生き抜く人材

必要な仕組み

自らの学びを設計し、「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集して  
最後までやり抜ける学びの仕組み

多様な価値観を受け入れ、新しい価値を創るイノベーター人材

必要な仕組み

国際交流、スタートアップとの連携等により国際社会の貢献に資する  
自分の「究めたい」を徹底的に学べる環境



### 進路イメージ

グローバルに貢献できる先端人材

国内外の最難関大学  
(リベラル・理工等)へ進学

新たな価値を創造するイノベーター人材

高校時代に究めたことを  
一層研究を続けていく

港区白金地区の 「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)  
デジタルの力で、学びを究める進学校 ～自分を磨いて、白金から世界へ～

### 教育方針

#### 自己デザイン

- ✓ 興味・関心を起点に  
自ら選び、決める力
- ✓ 幅広い視野と  
柔軟な思考力

#### 創造

- ✓ 論理的思考力、  
本質を見抜く力
- ✓ 興味を起点とした  
新たな価値創出

#### 協 働

- ✓ 多様な価値観を  
柔軟に受け入れ
- ✓ 社会参画意欲、  
新しい未来の創造



日々進化する「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集して

#### 「プラチナ・カリキュラム(仮称)」

で実現します。

※グローバル・リーダー:ノーベル賞受賞者やユニコーン企業の創業者等のグローバルで活躍する人材

## 特徴01

## 自己デザインによる学びを叶える仕組み

✓ 「AI」や「グローバル・リーダー」の力を結集して、様々な学びを掛け合わせたハイブリッドシステム

リアル

×

デジタル

全日制

×

通信制

✓ 「通学」と「いつでもどこでも」のクオーター型の運用で、国内外への留学も視野に

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					夏休み				冬休み		
通学期 (第1ターム)			自己選択期 (第2ターム)			通学期 (第3ターム)			自己選択期 (第4ターム)		

デジタルテスト(CBT)により、知識の確認を実施

## 通学期

通学が基本の**全日制**の学び

協働学習の充実・コマ数縮減

	月	火	水	木	金
1コマ	現代文	地理	歴史	公共	数学I
2コマ	理科①	現代文	言語文化	情報	言語文化
3コマ	地理	芸術	公共	歴史	情報
4コマ	体育 or家庭	理科②	数学I	データサイエンス	GIL
5コマ (14:00)	英語I	英語I	GI哲学文化	GIL	GIL
放課後	✓ 次回授業に向けた事前学習 ✓ リアル授業では取り上げない単元の自学自習				

放課後は**学校内外**で自分に合う学習

## 学びを支えるツール例



知識を測る  
デジタルテスト(CBT)



思考を深めるヒント  
AIコンテンツ



学びの記録を蓄積し  
教員と対話するLMS

デジタルを活用した柔軟な**通信制**の学び

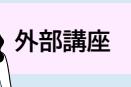
	月	火	水	木	金
1コマ	✓ 自分で学習を組み立て				友達と探究学習
2コマ	✓ 得意や苦手に応じた				
3コマ	自由進度学習				
4コマ					
5コマ					

✓ 自分で学習を組み立て

✓ 得意や苦手に応じた

自由進度学習

## 自己選択期



教室コモンスペースで  
自学自習

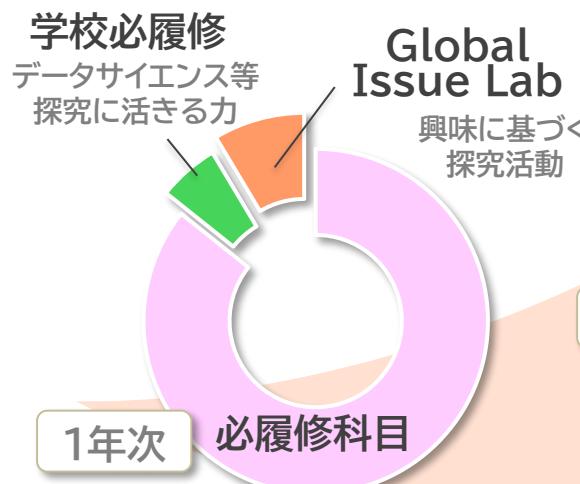
## 特徴01

## 自己デザインによる学びを叶える仕組み

- ✓ **自由選択の幅を拡大し、「好き」や「得意」を伸ばす**

Global Issue Lab:総合的な探究の時間

**確かな学力を身に付けてから  
「究めたい学び」へ段階的に移行**



必履修科目

2年次

自由選択

学校必履修  
データサイエンス等  
探究に活きる力

3年次

自由選択

**「究めたい学び」**

- ✓ **自由選択の幅が  
年次進行で拡大**
- ✓ **得意や興味関心を伸ばす**

**「必要な学び」**

- ✓ **ミニマムスキル**の必履修科目
- ✓ **探究的な学びの基礎力**

ノーベル賞受賞者やユニコーン企業の創業者等の  
**「グローバル・リーダー」**からの学びの機会を創出

生涯に渡り学び続ける

Global  
Issue Lab  
興味に基づく  
探究活動

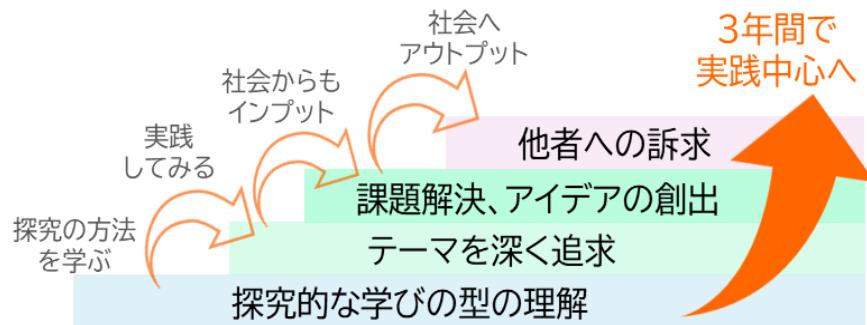
必履修科目

1

## 特徴02

## 自分の「究めたい」学びを深める仕組み

## ✓ 学びの基盤となる探究的な学び



- ✓ 型を学ぶ
- 自由に探究
- アウトプット の3段階学習

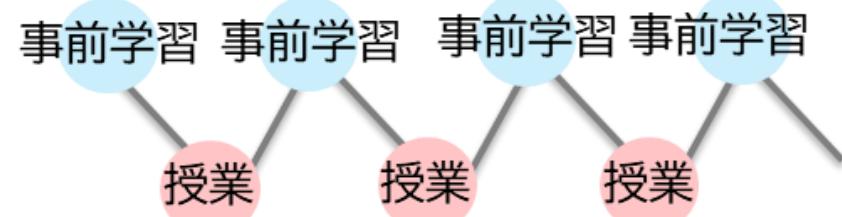
外部の提供プログラムの活用や  
実社会とつながった活動を検討

探究的な学び

## ✓ 効率的で生徒主体の学びを作る反転学習

## 【反転学習とは】

授業前に「事前学習」としてのインプットを重要視し、  
授業では、対話や協働を通じて理解を深め定着する学習



応用・協働学習、学習の振り返り

- ✓ 「AI」の力も活用した事前学習で、  
「自分のペースで個別最適な学び」と  
「生徒同士でより深める協働的な学び」の循環
- ✓ デジタルテスト(CBT)で知識を測る

探究的な学び方を取り入れ



反転学習

習得した知識を活用

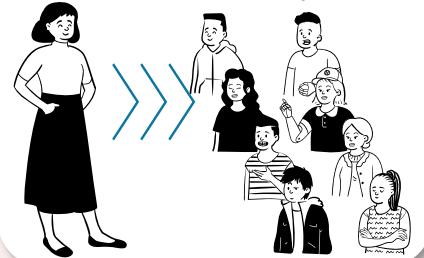
## 特徴03

## 生徒の学びを支える伴走の仕組み

## ▶ 伴走者としての教員の役割

## 従来

- ✓ 教室の中での一斉指導
- ✓ ティーチングが中心

マインド  
チェンジ▶ 学習を可視化する  
学習管理システム(LMS)

- ✓ 主体的に学習計画を立てるシステム
- ✓ 教員との対話により学びの意欲を向上

教材機能

学習管理機能

コミュニケーション機能

- ✓ AIを活用した学習のサポート

## ✓ コーチング

## 学びを選択するプロセスを支援

生徒によって学びのプロセスは様々

学習計画  
が苦手学習計画を「」  
助けるヒント  
社会とつながる  
きっかけを提供社会と  
関わりたい

教員

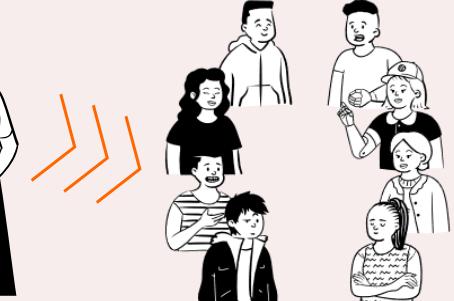


生徒

1人で学ぶ  
方が好きさらなる  
教材配信等LMSでつまづき  
を把握・支援  
苦手な教科  
が心配

## ✓ ファシリテーション

## 生徒中心の協働学習を支援

互いの価値観を受容し  
自らの考えを深める議論を促進教員が意図的に発揮すべき能力を育成し、  
先導的な教員を配置

メンター

▶ 全生徒が1on1で相談可能な  
パーソナルメンター機能

- ✓ 外部人材を活用し、学習方法や進路などの悩みの相談
- ✓ 教員と密に連携を取り、多角的に支援